

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		よつば・あえる		公表日		令和8年3月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	使用する道具類の整理整頓を心がけ活動等に使用できる十分な物理的空間の確保に努めると共に、児童様の安全に配慮できるように集団活動や余暇時間の個別支援を行っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	国が定める基準よりも多く配置し、個々の児童様の状態に応じた支援等の提供がスムーズにできるよう配慮しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・スケジュールの提示など、視覚的な構造化を用いています。 ・事業所内の水道付近に約6センチの段差がある個所には、色付き（黄色）のテープを張って視覚的に段差があることを理解していただくための工夫をしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・人が通れないほどの細い通路側にある窓を開け、常時空気の入替えをしています。 ・定期的な館内及び車両内の消毒の他、常に空気清浄機等を使用して、清潔で快適な環境を維持するよう努めています。 ・整理整頓を心がけ、児童様が活動するスペースには極力道具類を置かない等の工夫を行い、活動等に使用できる十分な物理的空間の確保に努めています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	気持ちの切り替えが必要な時や、着替え時など、必要に応じて相談室等の場所を提供しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	朝礼や終礼時の振り返りがあり、法人内及び事業所内研修や法人内及び事業所内会議を行うことで全職員が業務改善に参画する機会を設けています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者様に対してのアンケート結果をもとに、毎年業務改善を図るため会議を行い、改善策を実行しております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	朝礼や終礼時に、その日の業務に関する振り返りを行い、提案された意見や改善案等を職員全員で検討して、内容を共有しています。また、法人内及び事業所内研修や法人内及び事業所内会議を行うことで全職員が参画する機会を設けています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	第三者による第三者評価は行っていませんが、保護者様へのアンケート調査を実施して、業務改善につなげています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・人間力を高める研修と専門力を高める法人内研修を原則として月に2回実施しています。 ・その他、支援方針に沿ったテーマの外部研修に参加しています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	令和6年12月に支援プログラムを作成し、令和7年2月にホームページにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・S-M社会生活能力検査を実施したり、WISC等の検査結果を解釈して客観的な分析を行っています。また、保護者様にご協力いただき、よつば・あえるだけではうかがい知ることの難しい児童様の一面を可能な限り把握しています。 ・児童発達支援管理責任者が保護者様と定期的に(6カ月に1回以上)面談を行い、面談の中からもニーズを抽出して計画を作成しています。 ・指導員を交え支援の進捗状況や課題の確認をし、作成しております。		

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	計画案作成時には、個別支援会議を行い、指導員と共に支援の進捗状況や課題の分析・評価を行っています。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	児童様の日々のケース記録用紙に計画(目標)を記載するとともに、終礼時に計画(目標)に沿った情報共有を行っています。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・S-M社会生活能力検査を実施したり、WISC等の検査結果を解釈して客観的な分析を行っています。 ・保護者様に提供していただいた、ご家庭等での児童様のご様子や、よつば・あえるでの児童様のご様子も含め、適応行動の状況等を分析しています。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	令和6年度より、個別支援計画表に「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目を設け、必要に応じて「地域支援・地域連携」の項目を追加し、ニーズや課題に沿った計画を作成しています。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	プログラム担当を中心に、新しいプログラムの立案について、他の職員の意見を取り入れながら決定しています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	児童様の心身の変化や成長を把握する等、療育上の必要性に応じて、固定して行うプログラムがありますが、やり方や着眼点を変えながら行っています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	「運動・感覚」「認知・行動」に関連するものは集団活動で、「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」に関連するものは個別活動として支援を行っております。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼の際、当日の役割分担や支援内容、児童様の最近のご様子及び支援にあたって留意すべき事項について、職員間で共有しています。また終礼時に、その日の支援内容等の振り返り等を行っています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	支援終了後、職員全員がその日の支援内容や児童様のご様子、反省点等を記入して、翌日の朝礼で内容を共有しています。尚、緊急性の高い事案については、終礼時に情報共有等を行っています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・職員全員が、その日の支援内容や児童様のご様子、反省点等を記入した内容を、翌日の朝礼で報告して、支援の検証や課題の抽出を行い、支援内容等の改善に努めています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・6カ月に1回以上モニタリングを行っています。 ・個別支援会議を行い職員から支援の進捗、課題の抽出等の意見を求め、計画の評価や振り返りをして、見直しに関する判断を行っています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	0	【自立支援と日常生活の充実のための活動】 集団活動や余暇の時間に、自立や社会性の獲得に必要な「健全な心や身体づくり」のための活動を行っています。 【創作活動】 創作系の集団活動に加え、余暇時間における児童様の自由な創作活動の援助を行っています。 【地域交流】 外出プログラムや買い物体験を通じて、積極的に社会に参加することを目指しています。ボランティアや実習生、職場体験の受け入れを行っています。 【余暇の提供】 余暇の時間を設定し、充実した過ごし方を目指しています。	

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・余暇時間やおやつ時間に、児童様が「自分で決める」「自分で選ぶ」機会を提供しています。 ・児童様の状況や選択の内容に応じて、イラストや写真、ジェスチャー等を使用して、児童様に選択する内容を分かりやすく伝えるための環境調整を行っています。 ・自己決定するために必要な自己効力感の向上を目指し、アタッチメントを形成する関わりを行っています。 	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者や基礎研修を修了した指導員の他、児童様の現在の状態をよく理解している職員が参加して、個別支援計画のとのスレや見直しの必要性が無いか検討しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	契約時に保護者様から児童様の掛かりつけ医、利用している福祉事業所、学校の担任等の情報を確認し、必要に応じて連携する体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、担任の先生とケース会議等を行い、情報共有に努めています。また、下校時の引渡しを受ける際、下校時刻の確認や連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を行っています。 ・契約時に保護者様が学校様への送迎を希望された場合は、学校様と車両駐車場所や児童様引き渡し方法等の確認を行っています。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	必要に応じて、保護者様の同意のもと、就学前に利用していた保育所等との情報共有を行い、発達支援の連続性が途切れることが無いように児童様の支援を行っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	就業先から情報提供の依頼があった場合、保護者様の同意のもと、移行期に切れ目のない支援が行われるよう、必要な情報を提供致します。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	令和7年度に関しては、児童発達支援センターとの連携はありませんでしたが、必要に応じて助言や研修を受ける体制は整っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	積極的な機会提供はできませんでしたが、外出プログラムを通して、障害のない子どもと接する機会を提供しています。	・療育上の必要性や安全性、児童様の状況を考慮し、検討いたします。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	7	事業所としての参加はありませんが、法人単位では参加があるので、意見を挙げてもらうことや情報の共有が可能です。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳に家庭や学校での様子や課題、相談等を記入していただいております。また、送迎の引き渡しの際、当日の児童の様子を口頭で伝えております。 ・必要に応じて、児童発達支援管理責任者が保護者様と面談を行い、児童様の共通理解に努めています。 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	令和7年7月26日と10月11日にあさはた緑地の会議室においてご家族様を対象とした研修会を実施いたしました。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	施設ご見学の際、支援内容や利用料金等について概略を説明し、ご利用契約時に詳細な内容説明等を行っています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	6カ月に1回以上モニタリングを行う際の面談において、児童様やご家族様の意向を確認しております。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	原則、保護者様に施設までご足労いただき、対面形式で放課後等デイサービス計画をお示ししながら支援内容の説明を行い、保護者様の同意をいただいております。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談は、いつでもお受けしております。助言支援については相談の内容等により、連絡帳でのやり取りや、面談を通して行うだけでなく、相談支援事業所様や学校様と連携して対応させていただくこともございます。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	令和7年7月26日と10月11日にあさはた緑地の会議室においてご家族を対象とした研修会を実施し、保護者様同士の交流の場となりました。また、11月29日にご家族様の参加が可能なイベント（くるらまつり）をIAIパラスポーツパークにて実施し、保護者様同士、ごきょうだい様同士の交流もありました。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	ご契約時に、重要事項説明書等を通して保護者様に苦情対応体制について説明しております。また、いただいた苦情等については再発防止策を講じ、保護者様に説明するとともに、再発防止の対策を実施するよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月10日に、あえるだより(会報)及びプログラム予定表を保護者様に配布しています。また、ホームページ上のブログで、活動の様子や予定等を定期的に発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報は個別ファイルに纏め、必ず鍵付きのロッカーに保管する等、厳重に管理するとともに、ブログ等で外部に情報を発信する際は、個人が特定されないよう細心の注意を払っています。 ・ご契約時に、個人情報取り扱いに関する同意書を取り交わしており、館内にはプライバシーポリシーを掲示しています。 ・保護者様からいただいている個人情報の多くが、要配慮個人情報に分類されておりますので、今後さらに個人情報について慎重に取り扱うとともに、職員の個人情報保護に対する意識向上に努めてまいります。 	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	言葉だけでなく写真や絵カード等を使用する等をして、児童様及び保護者様一人ひとりの特性や発達段階、状況に応じた関わり方や支援を行っております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	事業所の行事に地域住民を招待することはありませんでしたが、防犯対策や感染症予防対策、個人情報保護対策等を徹底した上で、地域に開かれた事業運営を行っております。	・療育上の必要性や安全性、児童様の状況を考慮し、地域住民の招待等に関して検討いたします。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	保護者様とのご契約時を中心に、各種マニュアルを保護者様にご説明するとともに、改定された場合には、都度ご連絡しています。職員に対しては定期的実施する各種研修会等を通して内容を説明していると共に、非常災害等を想定した訓練を定期的に行っております。	・発生を想定した訓練の質を上げてまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	自然災害及び感染症に関するBCPを策定し、非常災害の発生に備えた訓練を定期的に行っております	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	ご利用契約時に保護者様から口頭又は書面で確認させていただき、頂いた情報を職員間で共有しております。	・職員が逐一確認できるようにシートを作成し、事務室等に掲示します。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	ご利用契約時に保護者様から口頭又は書面で確認させていただき、頂いた指示書等に基づいた対応方法を職員間で共有しております。	・職員が逐一確認できるようにシートを作成し、事務室等に掲示します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、児童様の安全管理に十分配慮した支援を行っております。	・計画の周知に努め、朝礼や終礼を通して職員の安全管理の意識を向上させる取り組みを行います。
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	児童様の安全確保するための計画や対策を、契約時や面談、配布物等を通してご連絡しております。	・面談や配布物により、今まで以上の計画の内容を周知することに努めます。	

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットに相当する事例があった場合には終礼時に職員間で情報を共有すると共に、再発防止の対策を、その都度検討し実行しております。	・より詳細なヒヤリハットの記録を取ります。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・令和7年度は、法人内において6月に虐待防止研修を実施しました。 ・朝礼、終礼、事業所内会議において、より適切な対応について共有しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	「身体拘束等の適正化のための指針」を定めており、保護者様にご契約時に説明しております。また、やむを得ず身体拘束を行う可能性がある場合には、計画に記載します。	